

# 赤外線サーモグラフィ試験（TT レベル2） サーモグラフィ トレーニング セミナー

（一社）日本非破壊検査協会規格 NDIS 0604 準拠

技術資格試験のための訓練に対応

2013年赤外線サーモグラフィ試験（TT レベル2）資格試験の受験を目指す方に受験に必要な訓練時間80時間\*のうち40時間分を受講いただけます。（一社）日本非破壊検査協会が実施するレベル2講習40時間とあわせると、すべての訓練シラバスを満足する内容になっております。



\* 総訓練時間はレベル1とあわせると120時間となります

■ 開催日・開催場所につきましては当協会ホームページをご覧ください。

<http://www.thermography.or.jp/seminar/>

■ 時間：9時～18時 5日間

■ 定員：16名

■ 参加費（税込）：  
通常料金 ￥90,000 ￥81,000（会員）  
早割料金 ￥81,000 ￥73,000（会員）

※開催日の1ヶ月前までにお申し込みいただくと早割料金が適用されます。

【講師】 当協会インストラクター

（協力）日本アビオニクス（株）、フリーシステムズジャパン（株）

お申し込みはWebから：<http://www.thermography.or.jp>

## ●コース内容

(一社)日本非破壊検査協会の赤外線サーモグラフィ試験(TTレベル2)一次試験を受験するには、80時間の訓練が必要です。日本非破壊検査協会が実施する40時間の訓練と当協会の40時間の訓練はシラバスをお互いに補完するようにプログラムが組まれており、両方を受講すると受験資格を満たすようになっております。ただし、受験にはレベル1訓練時間(40時間)を既に満足している必要があります。受験要領の詳細につきましては、日本非破壊検査協会のホームページをご覧ください。

## ●訓練シラバス

訓練内容	訓練内容題目
序論	非破壊検査一般 認証制度
赤外線工学	伝熱工学の基礎 赤外線工学の基礎
赤外線サーモグラフィ装置	装置の仕組み
	センサ
	走査方式
	測定波長帯域
装置の選択	特殊波長帯域測定フィルタ
	測定の補助機器
	装置選択における注意点
熱負荷装置の選択	接触による熱負荷
	放射加熱
	通電加熱装置
	その他の加熱装置
きずの種類と その発生要因	電気・電子関連
	機械設備関連
	プラント設備関連
	土木・建築関連
	材料評価関連

訓練内容	訓練内容題目
測定方法の選択	赤外線サーモグラフィ試験の特徴
	断熱温度場検出に基づく方法
	その他の方法
	アクティブ法とパッシブ法
測定の実施と評価	定性的方法と定量的方法
	測定の実施と評価における注意
非破壊検査に関する 技術文書	熱弾性応力測定の原理と注意
	技術文書の種類
	記録と報告
実技	用語
	準備, 試験, 報告
	各種試験

本シラバスより40時間分を実施いたします

## ■開催日時・開催場所について

当協会ホームページにて開催日時、開催場所を掲載しております。  
詳細につきましては当協会ホームページよりご確認下さい。

<http://www.thermography.or.jp/seminar/>

## ■申込み方法(次の方法の何れかからお申込み下さい)

① 当協会ホームページの申込みフォーマットから直接送信する。

② 申込書を印刷し、FAXか郵送で送る。

電話での受付及び予約は一切行っておりません。尚、ご不明点は、電話やホームページ等でお問合せ下さい。

・開催日の2週間前を過ぎると受講をキャンセルできませんのでご注意願います。



一般社団法人

日本赤外線サーモグラフィ協会

Japan Infrared Thermography Association

〒141-0031 東京都品川区西五反田8-1-5 (五反田光和ビル6F)

TEL:03-5759-1055 FAX:03-5759-1056

<http://www.thermography.or.jp>